

2035年問題に備え、「わざのわ」が目指す持続可能なものづくり社会とは？

## 「手仕事のインフラ構想」高齢化で失われゆく昭和の技術を次世代へ

人の手から生まれる、温もりのあるモノづくり。しかし「手仕事」の担い手は年々減っている。手仕事の技術を「見える化」「売れる化」して、次世代に紡ぎたい——「わざのわ」は、そんな発想から生まれた新プロジェクト。日本が直面している高齢化問題の中で、失われつつある技術を守るべく、クラウドファンディングで支援を募集中だ。

「知識」や「スキル」が資産になる時代。テクノロジーが日々進化する中、手仕事の技術は、職人の「手の感覚」や「経験による勘」など、見えないがゆえに継承が難しい。

わざのわは、布小物の型紙やアクセサリ制作のコツ、道具の使い方など“売り方がなかった”手仕事の技術や知恵を「デジタルデータ」「動画」「リアル指導」などに変換し、個人間で売買できるオンラインマーケットプレイスを目指している。

「モノではなく、技術そのものを流通させる」—— わざのわの挑戦が、世界に誇れる日本の古き良き技術を、未来に残す突破口になるかもしれない。

背景には、日本社会の構造的課題がある。団塊の世代が75歳を迎える2025年、そして、超高齢化社会のピークとされる2035年。このままでは、昭和から受け継がれてきた、日本の宝とも言うべき手仕事の技術が、誰にも受け継がれないまま失われてしまう。

持続可能なものづくり社会を目指す「わざのわ」の挑戦。

「昭和の日」4月29日に終了するクラウドファンディングによって、日本を支えてきた古き良き技術に、新しい命が吹き込まれようとしている。

### 【クラウドファンディング概要】

開催期間：2025年4月29日(火) 昭和の日 まで

開催場所：CAMPFIRE ( <https://camp-fire.jp/projects/801001/view> )

わざのわプロジェクト： <https://jewelry-craft.online/wazanowa/>

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社ケルヒ [〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目1番15号]

担当：古澤（ふるさわ） 電話：022-799-7254 メール：[c\\_support@kellch.com](mailto:c_support@kellch.com)

創業：平成14年2月1日 設立：平成25年6月4日 主な事業：宝石・貴金属製装身具製造